

# 令和6年度 長崎県学力調査結果の概要

## 調査の概要

### 1 調査目的

本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てるとともに、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証して学力向上対策の一層の充実を図る。

### 2 調査実施期間・調査内容

令和6年4月18日(木)

- ・小学校調査(国語・算数：第5学年：40分)  
(理科：第6学年：40分)
- ・中学校調査(国語・数学：第2学年：45分)

令和6年4月19日(金)

- ・中学校調査(英語：第3学年：45分)

### 3 調査実施校数及び児童・生徒数

(1) 調査実施校数 471校

(2) 調査実施児童・生徒数

小学校第5学年	10,640人
小学校第6学年	10,532人
中学校第2学年	10,115人
中学校第3学年	9,898人

## 結果の概要

### 1 出題の考え方

学習指導要領が目指す学力像を示し、授業で身に付けさせたい資質・能力に視点をあてたもの。

学習指導要領が求める基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を問うもの。

学習指導要領の内容の定着状況を把握するとともに、過年度の課題を検証する。

各教科の平均正答率の目標値（以下「目標値」とする）を60%とする。

### 2 県全体（公立小・中・義務教育学校、県立中・特別支援学校）の平均正答率（%）

	小学校			中学校		
	第5学年		第6学年	第2学年		第3学年
	国語	算数	理科	国語	数学	英語
令和6年度	57.8	68.6	53.5	62.1	57.4	41.4
令和5年度	69.4	69.7	64.7	59.8	53.5	
令和4年度	64.6	60.9		54.3	55.8	54.5
令和3年度	60.0	64.9		61.6	49.2	56.6
自校						

小学校においては、算数は目標値を上回った。国語と理科は、いずれも目標値に至らなかった。

中学校においては、国語は目標値を上回った。数学と英語は、いずれも目標値に至らなかった。

### 3 令和5年度重点課題の関連問題について

		令和5年度重点課題	関連問題	平均正答率	
				県	自校
小学校	国語	条件に合わせて書く (複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりする)	1 二(2)	47.9	
			3 一	49.1	
	算数	割合の意味を理解する	3 (1)	74.8	
			(2)	67.3	
		図形の性質を理解し、面積の求め方を考える	4 (1)	66.1	
			(2)	44.1	
(3)	59.9				
(4)	48.3				
理科	より科学的な考えにするために検討・改善する	1 (2)	83.0		
	事物・現象を基に分析、解釈し、考えを記述する	1 (4)	21.1		
		3 (2)	56.5		
(3)	67.8				
4 (3)	35.4				
中学校	国語	話の展開を捉え、条件に合わせて書く	1 四	50.8	
			3 三	66.0	
	数学	数学の用語の意味を正しく理解する	3 (1)	89.1	
			5 (1)	65.4	
		(2)	46.1		
		9 (1)	54.8		
	データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する	9 (2)	54.2		
英語	目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る	3	43.5		
目的に応じて、自分の考えを英語で書く	10	内容 42.5 語彙 34.5 文法 27.9			

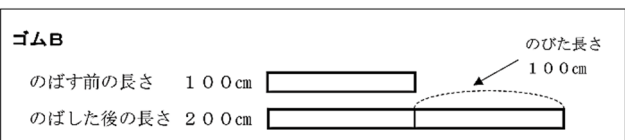
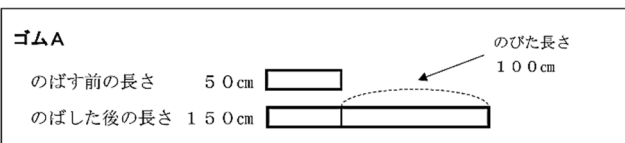




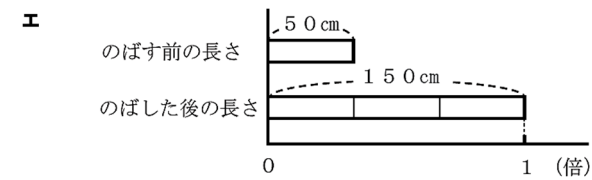
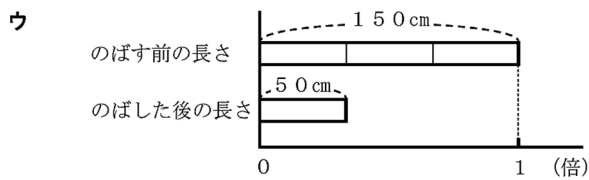
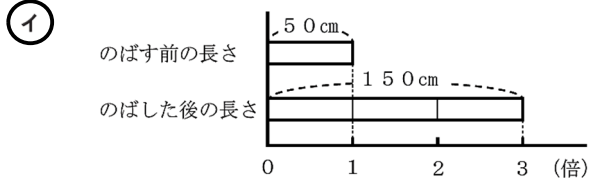
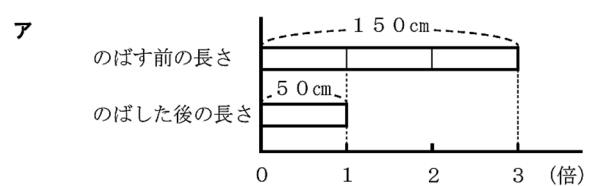
# 小学校算数

## 割合の意味を理解する 関連問題 3 (1)(2)

3 (1) ゴムAについて、「のびた後の長さ」が「のびす前の長さ」の何倍になったかを表した図として正しいものはどれですか。下のアからエの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。



<改善のポイント>  
 3 (1) の正答率は 74.8% でした。先生方の熱心な御指導により、数量(割合)の関係を図に表すことについては、改善が図られています。今後も指導を継続し、確実な定着を図りましょう。



(2) ひろとさんたちは、ゴムをのびた後の長さは、のびす前の長さの何倍になっているかを説明しています。

**【ひろとさんの考え】**

ゴムAは、50 cmから150 cmにのびています。  
 $150 \div 50 = 3$   
 のびた後の長さは、のびす前の長さの3倍になっています。

はるなさんは、ゴムBについて、【ひろとさんの考え】と同じように説明しています。【はるなさんの考え】の続きを、言葉と式、数を使って書きましょう。

**【はるなさんの考え】**

ゴムBは、  

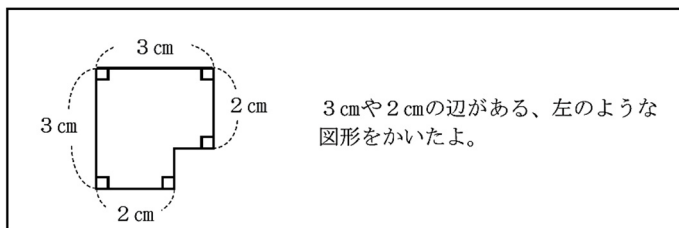
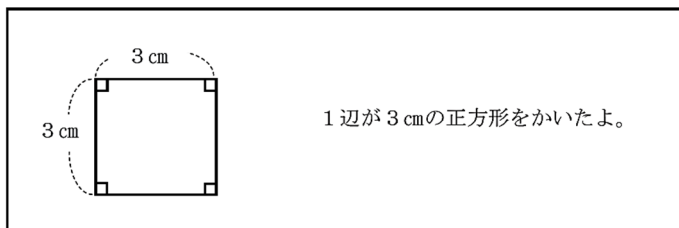

<改善のポイント>  
 割合の求め方を記述する3 (2) の正答率は 67.3% でした。3 (1) よりも 7.5 ポイント低い状況です。  
 4年生以降の割合は、2年生のかけ算、3年生のわり算の学習が素地となります。そのため、基準量、比較量、割合(倍)の関係を絵図や言葉の式に表す、それらを基に立式し解決する、解決の過程を問題文や絵図と関連させて説明する活動を、系統的に積み重ねることが大切です。

**正答率 (%)**

	(1)	(2)
県	74.8	67.3
市町		
自校		

<自身の授業改善のポイント>

4 (4) ひなこさんたちは、まわりの長さが12cmの図形をかきました。



そうたさんがかいた図形の面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。下の1から4までの中から1つ選び、番号を書きましょう。

- 1 長さがわからない辺があるので、求めることができない。
- 2  $7\text{cm}^2$
- 3  $8\text{cm}^2$
- 4  $9\text{cm}^2$

正解することができなかった子供は、以下のような理由で、「1」を選択したケースが多かったのではないかと予想しています。

- ・正方形や長方形ではないから、面積は求められない。
- ・長さが書いていないから、面積を求めることはできない。
- ・2つの長方形に分けて考えるなどの方法はわかるけれど、長さがわからないから、面積を求めることができない。
- ・計算で面積を求めて $8\text{cm}^2$ となった。でも選択肢の1に「求めることができない」と書いてあるから、面積は求められないのかもしれない。

<改善のポイント>

4(4)は、基本的な複合図形である「L字型」の面積を求める問題でした。正答率は、全問題中2番目に低い48.3%でした。

先生方の学校の子供たちの状況は、いかがだったのでしょうか？正解することができなかった子供たちは、どのように考えていたのでしょうか？まずは子供たちの状況を分析し、改善策を検討してみてください。

なお、複合図形の指導に当たっては、多様な複合図形の面積を求める活動や、図と式を関連付けて面積の求め方を説明する場面を、十分に取り入れることが大切です。子供たちは、そのような指導を通して、「何とかして長方形や正方形の求め方が使えないか」「書いていない長さを計算で求めることができないか」など、初めて出会った問題に対しても、既習を生かして粘り強く取り組む態度を身に付けていくことができます。

正答率 (%)










	(4)
県	48.3
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

事物・現象について分析、解釈し、考えを記述する 関連問題 1(4)4(3)

1 かおるさんたちのクラスでは、身近な生き物についての「生き物クイズ」を作り、友達と出し合うことになりました。かおるさんとおおさんは、学校の池のメダカをつかまえて、水そうに入れて飼育してみることにしました。

かおるさんとおおさんは、メダカやインゲンマメ、ヒトの成長の様子を下のようにまとめました。  
そこから、成長に必要な養分のとり方についてクイズを作ろうと考えました。

メダカ	ア 	イ 	ウ 
ヒト	エ 	オ 	カ 
インゲンマメ	キ 	ク 	ケ 



かおるさん

ウとカは、他の生物から栄養をとり入れているね。



りおさん

エとオは、母親から栄養をもらって成長しているね。



かおるさん

成長のためにもともと持っている養分を使っているのはどれかな。

(4) かおるさんのことばの中にある「もともと持っている養分を使っている」のはどれですか。表の中のアからケの中からすべて選びましょう。

4 あおいさんはお姉さんと、なべでお湯をわかして、ラーメンを作ることにしました。

(3) 水が、液体から気体に変化することで起こる現象はどれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 冬の朝に、外で息をすると、はく息が白くなる。
- 2 晴れた日の朝に、ほした洗たく物が、夕方にはかわいている。
- 3 暑い日に、冷たいジュースを入れたコップの表面に、水てきがつく。
- 4 とても寒い日に、池の水面に氷はる。

正答率 (%)

	1(4)	4(3)
本県	21.1	35.4
市町		
自校		

<改善のポイント>

1(4)の身近な生き物の成長に必要な養分の取り方の問題の正答率は、21.1%、4(3)の日常生活の現象と水の状態変化を関連付ける問題の正答率は、35.4%でした。どちらの問題も既習事項を十分に生かしてきれていないことが課題であると考えます。

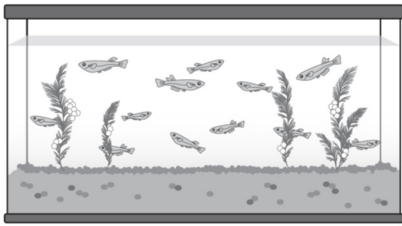
指導に当たっては、自然の事物・現象を観察した結果の図や写真を、どの視点で分析して解釈したらよいか、獲得した知識を手掛かりにして学ばせることが大切です。その際に、他の児童の視点や考え方を共有し、自身の考えと比較させることも有効です。加えて、単元の終末には、既習事項と日常生活の現象がどのように関連しているのか、自分の言葉で説明する活動を設定しましょう。

<自身の授業改善のポイント>

より科学的な考えにするために検討・改善する 関連問題 1 (2)

1

かおるさんたちのクラスでは、身近な生き物についての「生き物クイズ」を作り、友達と出し合うことになりました。かおるさんとりおさんは、学校の池のメダカをつまえて、水そうに入れて飼育してみることにしました。



1週間後、水そうをのぞいてみると、水草にメダカの卵が産みつけられていることが分かりました。



水草に、メダカの卵が産みつけられているね。メダカの卵の変化を観察して、クイズが作れそうだね。

かおるさん



メスが産んだ卵と、オスの精子が結びつくから、子メダカが生まれるのよね。このこともクイズにできそうだね。

りおさん

(1) りおさんのことばの「メスが産んだ卵と、オスの精子が結びつく」ことを何と申しますか。あてはまる言葉を書きましょう。

かおるさんは、水そうの中のメダカを観察して気づいたことや、図鑑で調べたことをもとに、メダカについてのクイズを作りました。

かおるさんが作ったクイズ

あるメダカを観察すると、次のような特ちょうがあることが分かりました。  
 特ちょう 1…学校の池にいる。  
 特ちょう 2…大きさは3cmくらいである。  
 このメダカは、オスですか、メスですか。



かおるさん、これらの特ちょうだけでは、オスカメスカ区別できないので、クイズにならないのではないかな。

りおさん



なるほど。オスカメスカが分かる特ちょうを加える必要があるね。

かおるさん

(2) かおるさんが作ったクイズに、どのような特ちょうを加えるとクイズが成り立ちますか。最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 全体がオレンジ色である。
- 2 しりびれがある。
- 3 えらで呼吸している。
- 4 背びれの切れ目がある。

<改善のポイント>

本問題は、メダカの観察により気付いたことや図鑑で調べたことを基に、不完全なクイズを検討・改善する場面として出題したものです。正答率は、83.3%と高い結果を得ることができました。

学習のまとめとして問題(クイズ)を考える際に、自分が意図した解答(答え)になっているかどうか、自身の考えはもちろんのこと、他の児童の考えも聞いて、問題(クイズ)として成立しているか、科学的な問題になっているかについて、検討・改善をすることが大切になります。

指導に当たっては、児童が考えたことを発表など表現する場面において、理由や根拠を明らかにさせることが大切です。加えて、他の児童の考えを理解させ、多様な視点から自分の考えの妥当性や信頼性を吟味させる活動を単元指導計画の中に意図的に設定して、繰り返すことで、自他の考えを検討・改善し、自分の考えをもつことができるようになります。

正答率(%)

本県	83.0
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

# 中学校国語

## 話の展開を捉え、条件に合わせて書く 関連問題1四(A話すこと・聞くこと)

1 緑川市に住む清水さんは、総合的な学習の時間に、「ふるさとの魅力を考える」という学習に取り組んでいます。地域の広報紙から情報を集めていた清水さんは、「地域を愛し、愛されるカフェ」を目指して活動している太田さんの記事に興味をもつ、太田さんにインタビューをしました。次の「広報紙の記事」、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

### 「インタビューの様子」

清水 緑川中学校の清水です。今日は、太田さんの思いや取組、地域との関わりについて、詳しくお聞きしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

太田 こちらこそ、よろしくお願ひします。

清水 早速ですが、太田さんは、食材のよさを生かしたおいしい料理を提供するだけでなく、この地域には、魅力的な食材があるということも多くの人に発信していくことも大切だと話されているのを広報紙で読みました。そのように考えるのはどうしてですか。

太田 実は以前、私は緑川市の魅力をあまり意識していませんでした。でも、大学進学で他県に住んだときに、ふるさとの料理のおいしさを思い出し、懐かしい気持ちになりました。私自身は、一度、緑川市を離れたことで、地域の食べ物や料理のよさに気付くことができず、その魅力に気付いていない人もたくさんいるのではないかと考えたことがきっかけです。緑川のすばらしさを、もっと多くの人に知ってほしいのです。魅力的なメニューを開発しながら、地元の食材や生産者との交流について、これからも積極的に発信していこうと思っています。

清水 そうなのですね。そうなるとう、地域の方と接する機会も増えそうですね。地域の方とはどのようにして関係を作っているのでしょうか。

太田 最初は、ためらうこともありました。でも、私から積極的に話しかけることで、思いを理解してもらえました。地域の皆さんと接するときにはいつも心がけているのは、きちんとあいさつをすること、感謝の気持ちを伝えること、自分ができることを見つけて行動することです。今では、たくさんのお客様をもらえるようになりました。

清水 思いを行動に移すことが大事なのですね。最後に、太田さんが考える「緑川市の魅力」についてお聞きしたいと思ひます。

太田 緑川市の魅力は、海に囲まれ、山や緑が多く、自然豊かであるということだと思います。美しい海や山こそが、おいしい食材の源ですし、その食材を育てている地域の方々も、魅力的な方たちばかりです。ただ、その魅力に気付いていない人が多いことは課題だと考えています。だから、食材や料理を通して、まずは私から緑川市の魅力を発信していきたいと思ひます。

清水 とても参考になりました。質問は以上です。今、総合的な学習の時間に、「ふるさとの魅力を考える」という学習をしています。

太田 ありがとうございます。

四 清水さんは、「インタビューの様子」の□で、インタビューを通して「印象に残ったこと」を、太田さんに伝えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、解答を読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「インタビューの様子」から、太田さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容がなせ印象に残ったのか、あなたの考えを書くこと。

### <改善のポイント>

重点課題である「話の展開を捉え、条件に合わせて書くこと」と「話すこと・聞くこと」とを関連付けた問題であり、正答率は50.8%（無答率14.8%）でした。なお、令和5年度も同趣旨の問題を出題しており、正答率は51.2%（無答率18.1%）という結果でした。

話の展開を捉えて自分の意見をまとめるには、必要な情報を取り出して整理することが重要です。設問の意図を理解して、目的意識をもって文章を読み、必要な情報には線や矢印で結び付けたり、丸や四角などの枠で囲んだりする活動を定着させましょう。

指導に当たっては、本問題のように、話の展開に応じて自分や他者の発言を結び付けて意見をまとめ、表出する場面を設定することが必要です。その際は、何のために話を聞いているのかを意識させ、必要な情報やその場で気付いたことを書き留めて話の内容を正確に理解できるように指導しましょう。

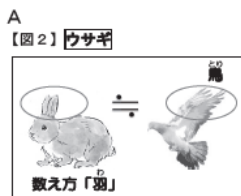
### 正答率 (%)

県	50.8
市町	
自校	

### <自身の授業改善のポイント>

話の展開を捉え、条件に合わせて書く 関連問題3三（書くこと）

〈候補〉



三 町田さんは、「下書きの一部」の「◆めずらしいものの数え方とその由来の例」に【図2】としても一つ具体例を示して、数え方とその由来を書こうとしています。あなたなら、どのように書きますか。【図2】について、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、解答を読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 次の〈候補〉のA〔ウサギ〕、B〔刀〕のうちどちらか一つについて書く。

条件2 【下書きの一部】にある【図1】の説明の仕方を参考に、数え方とその由来が分かるように書く。

【下書きの一部】

「ものの数え方について」 町田 ゆうと

- はじめに**  
ラーメン店で「ラーメン1つ」と注文したら、お店の人が「ラーメン1丁」と言い換えたことを不思議に思い、学校図書館で調べてみると、ものを数える言葉は多岐あることが分かり、いろいろなものの数え方やその由来について調べることになった。
- 調査方法**  
学校図書館・県立図書館・インターネットで情報を集めた。
- 調査結果**
  - ◆日本語のものの数え方  
日本語では、もの数や量を表すときに、数字だけでなく、決まった単位をつける。これらの単位は、約500種類も存在するといわれ、数えるものの形や性質がある程度、反映して使い分けている。
  - ◆ラーメンの数え方  
できあがったラーメンを「1丁」と数えるのは店員で、客は「1丁」とはあまり言わない。「丁」という漢字には、勢いのある様子を表す意味があり、雰囲気や気分を盛り上げ、元気を出すためにお店の人が使い出したことが分かった。
  - ◆めずらしいものの数え方とその由来の例
    - ①【図1】について、クジャクは「面」で数えることもある。なぜなら、羽を広げた雉のクジャクと開いた扇の形が似ているので、扇の数え方と同じ「面」を使うようになったそう。
    - ②【図2】について、
- まとめ**  
(出典・参考文献)  
安田 幸三『日本語の由来入門』2015年 小文堂出版

※

3 町田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。左は、町田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

<改善のポイント>

本問では、数え方の由来が伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかを問う場面を設定しました。正答率は66.0%、無答率は13.2%となっており、昨年度の同趣旨問題（正答率37.8%、無答率18.0%）と比べて、改善傾向にあります。

考えたことを書く際には、自分の意見が確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認することが必要です。そこで、授業では、文章や図表を適切に引用するなどして自分の考えを書く活動の中で、書いた文章の具体的な記述を取り上げて助言し合う場面を設定することが求められます。複数の事例の中から、どの事例をどのように記述すると明確になるのか吟味し、助言を自分の文章に生かすことができるように指導することが重要です。

正答率（%）

県	66.0
市町	
自校	

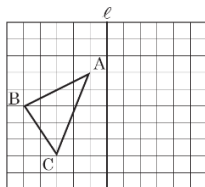
<自身の授業改善のポイント>

# 中学校数学

## 数学の用語の意味を正しく理解する 関連問題 3(1)、5、9(1)

3 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 下の図の△ABCを、直線ℓを対称の軸として対称移動させた図形をかきなさい。



5 ある中学校の2年生男子40人がシャトルランを行ったときの記録を調べた。下の表は、調べた結果を、累積度数をふくめた度数分布表に整理したものです。このとき、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

2年生男子のシャトルランの記録

階級(回)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
0～ 20	1	1
20～ 40	3	4
40～ 60	6	10
60～ 80	9	19
80～ 100	12	31
100～ 120	7	38
120～ 140	2	40
合計	40	

9 ある中学校の野球部に所属している一郎さんと守さんは、次の大会で対戦する相手チームのA投手が投げる球の速さの傾向について、調べています。一郎さんは、前回対戦したときのA投手が投げた106球のそれぞれの速さの記録をもとに、下のような表にまとめました。

このとき、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

一郎さんが作った表

平均値	中央値	さいひんちゆう 最頻値	最大値	最小値	
球の速さ(km/h)	115	118	122	128	90

(1) 一郎さんが作った表から、A投手が投げた球の速さについて、正しく述べているものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア A投手が投げた106球のうち、53球は115km/h以下である。
- イ A投手が投げた106球のうち、118km/hの速さの球が一番多い。
- ウ A投手が投げた106球のうち、最も遅い球は、128km/hである。
- エ A投手が投げた球の速さの分布の範囲は、38km/hである。

(1) 2年生男子のシャトルランの記録において、中央値がふくまれる階級を求めなさい。

(2) 2年生男子のシャトルランの記録において、40回以上60回未満の階級の相対度数を求めなさい。

### 正答率(%)

	3(1)	5(1)	5(2)	9(1)
本県	89.1	65.4	46.1	54.8
市町				
自校				

#### <改善のポイント>

本年度の調査問題では、対称移動、中央値や相対度数、最頻値等の意味を正しく理解しているかどうかを問いました。対称移動について問う3(1)の問題の正答率が89.1%と高かったことは、小学校時から具体的な操作を通して学習を積み上げてきたことが要因であると考えられます。一方、中央値や相対度数、最頻値などについて問う問題の正答率は、4割～6割という結果でした。特に、相対度数を問う問題である5(2)は無答率が10.7%であり、他の問題に比べて高い結果となりました。

指導に当たっては、単元において、意図的に学び直しの機会を設定することが大切です。その際、具体的な内容を取り上げながら用語の意味を確認したり、必要性を理解できるように問題の提示を工夫したりしましょう。【読解力育成に関連する視点：具体例同定 P16参照】

#### <自身の授業改善のポイント>

データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する 関連問題9 (2)

9 ある中学校の野球部に所属している一郎さんと守さんは、次の大会で対戦する相手チームのA投手が投げる球の速さの傾向について、調べています。一郎さんは、前回対戦したときのA投手が投げた106球のそれぞれの速さの記録をもとに、下のような表にまとめました。

一郎さんが作った表

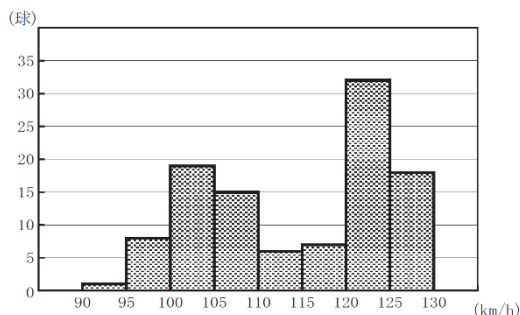
	平均値	中央値	さいごのも 最頻値	最大値	最小値
球の速さ (km/h)	115	118	122	128	90

(1) 一郎さんが作った表から、A投手が投げた球の速さについて、正しく述べているものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア A投手が投げた106球のうち、53球は115km/h以下である。
- イ A投手が投げた106球のうち、118km/hの速さの球が一番多い。
- ウ A投手が投げた106球のうち、最も遅い球は、128km/hである。
- エ A投手が投げた球の速さの分布の範囲は、38km/hである。

(2) 守さんは、A投手が投げた球の速さの分布の様子を、次のようなヒストグラムにまとめました。守さんが作ったヒストグラムでは、例えば、球の速さが105km/h以上110km/h未満の投球が、15球あったことを表しています。

守さんが作ったヒストグラム



2人は、一郎さんが作った表と守さんが作ったヒストグラムを見ながら、A投手が投げた球の速さの傾向について、話し合っています。

一郎さん「A投手が投げた球の速さの平均値は115km/hだから、他の速さの球に比べて、115km/hの速さの球を多く投げる傾向があると見えそうだね。」

守さん「でも、ヒストグラムを見ると、115km/hの速さの球を多く投げる傾向にあるとは言えないのではないかな。」

守さんが作ったヒストグラムを見ると、一郎さんのように「A投手が投げた球の速さの平均値は115km/hだから、他の速さの球に比べて、115km/hの速さの球を多く投げる傾向があると見えそうだ」という考えは適切ではないことが分かります。その理由を、守さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

正答率 (%)

県	54.2
市町	
自校	

<改善のポイント>

9(2)の問題は、平均値だけで判断することが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明するものであり、正答率は54.2%でした。令和5年度に出題した同趣旨問題(難易度同程度)の正答率34.9%を大きく上回り、各学校における授業改善の取組の成果と捉えています。一方で、無答率は例年とほぼ同程度の24.1%と高く、継続課題です。

指導に当たっては、データに基づいて問題を解決する過程で、判断の理由を生徒同士で説明させる場面を設定しましょう。さらに、生徒の意見を取り上げながら、「本当に～と言えるのかな」「～だけで判断していいのかな」と意図的に繰り返し問うことで、生徒の批判的思考を促し、判断の根拠を明確にさせることが大切です。













【読解力育成に関連する視点：具体例同定、推論 P16参照】

<自身の授業改善のポイント>

目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る 関連問題 3

3 《聞き取り問題》

あなたは、友だちのエミリーとイギリスでツアー旅行に参加しています。これから、ツアーガイドから予定の変更を聞くところです。その場に遅れたエミリーに、後で渡すメモとして最も適切なものをAからDの中から1つ選び、その記号を書きなさい。英文は1回だけ読まれます。

A	B
<p>1. see a lot of flowers (hotel entrance at 9:30 a.m.) </p> <p>2. fish restaurant (Lunch) </p> <p>3. dance show </p>	<p>1. visit the museum (hotel entrance at 9:30 a.m.) </p> <p>2. hamburger shop (Lunch) </p> <p>3. concert </p>
C	D
<p>1. visit the museum (hotel entrance at 9:30 a.m.) </p> <p>2. hamburger shop (Lunch) </p> <p>3. dance show </p>	<p>1. see a lot of flowers (hotel entrance at 9:30 a.m.) </p> <p>2. pizza restaurant (Lunch) </p> <p>3. concert </p>

< 改善のポイント >

3の問題は、ツアーガイドの話から、変更した新たなスケジュールを聞き取る場面を設定したものであり、正答率は43.5%でした。なお、令和5年度全国学力・学習状況調査の同趣旨問題においても、正答率は52.1%で、全国の61.1%を下回っており、課題であると捉えています。

指導に当たっては、話されたことの全てを聞き取ろうとするのではなく、何が自分にとって必要な情報かを判断しながら聞き取る言語活動を設定することが大切です。その際、生徒が英文を聞く前にも、「目的」「場面」「状況」を確認できるやり取りを英語で行ったり、必要になるキーワードは何かなど、聞き取りの視点を与えたりすることが有効です。

正答率 (%)

県	43.5
市町	
自校	

< 自身の授業改善のポイント >

10 あなたの学校では、総合的な学習の時間に「ふるさと学習」に取り組んでいます。その取組として、長崎県をPRするチラシを作成し、修学旅行先で外国人観光客に配布することになりました。あなたの住む地域や長崎県内にある事柄の中から1つ取り上げ、それを紹介する文章を20語以上の英語で書きなさい。下のチラシにある絵以外の事柄を紹介しても構いません。

※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 ( , や ? ) は語数に含めません。

(例) No. I'm not. 【3語】



<改善のポイント>

10の問題は、与えられたテーマについて自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題でした。評価については「内容」「語彙」「文法等」の3つの観点を設定し、正答率はそれぞれ42.5%、34.5%、27.9%でした。

授業においては、「内容面」「言語面（語彙や文法等）」の充実を図るために、スモールステップを踏んだ指導が有効です。例えば **ステップ1** 考えを整理するために、書く前に生徒が考えを伝え合う場面を設ける、**ステップ2** 書き表したものをペアやグループで読み合い、内容や表現方法についてコメントをし合ったり、言語面での気付きを共有したりする、**ステップ3** 「内容面」「言語面（語彙や文法等）」の両方に着目させながら推敲させる、などの段階の設定が考えられます。

正答率 (%)

	内 容	語 彙	文法等
県	42.5	34.5	27.9
市町			
自校			

<自身の授業改善のポイント>

### 3 6つの問題分野（特に、「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」「具体例同定」）を日頃の授業づくりの視点に加える。

6つの問題分野（6分野7項目）を日頃の授業づくりの視点に意識して加え、読解力の育成を図ることが大切です。

係り受け解析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が意図的に主語や述語、目的語などを問う。 P8（小国）</li> </ul>
照 応 解 決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「それ」「これ」などの、指示代名詞が示す言葉や内容について、線を引くなどして読み取らせ、全体で確認する。 P8（小国） P9（中社）</li> <li>・省略された主語や目的語を補うように指示する。</li> </ul>
同 義 文 判 定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の意見や考え方が同じかどうか、グループで話し合わせる。 P8（小理） P10（中理）</li> <li>・自分の意見や考え方がモデルと同じかどうか考えさせる。</li> </ul>
推 論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項等を根拠として新しい知識を獲得させたり、考察させたりする。 P8（小理） P10（中理）</li> <li>・文章中に書かれている内容等について、根拠を明確にして自分の考えを述べさせる。</li> </ul>
イ メ ー ジ 同 定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から読み取ったことを絵や図、表などを用いて整理させる。 P7（小算） P9（中社）</li> <li>・図や表、グラフから読み取ったことを、言葉や文章で表す活動に取り組ませる。 P9（中数）</li> </ul>
具 体 例 同 定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、考えたり話し合ったりする活動に取り組ませる。 P9（中数） P10（中理）</li> <li>・様々な事例や自分の書いた文章が、定義に合っているか確認させる。</li> </ul>

次ページから、6つの問題分野（6分野7項目）を視点に加えた授業実践事例を紹介します。



特別な取組を始めるのではなくて、普段の授業で使っている言葉を見直したり、これまでの手立てに読解力育成の視点を加えたりしていけばいいですね。

上記表中のページ番号は、「長崎県読解力育成プラン」中のページ番号を表す。

## 5 各教科の設問別正答率

<小学校国語>

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一 (1)	【資料】の中の——部アで、 -----部「見えます」の主語として 適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉える	
	一 (2)	【資料】の中の——部ウで、 ----部「新しい」がくわしくしている 言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	
	二 (1)	本文における「微生物セルロース」の 説明として適切なものを選択する	読み手として必要な情報を適切に見付け、選び出す	
	二 (2)	「とう明なシート」ができあがるまで の作り方について要約する	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	
	二 (3)	ナタデココから作ったディスプレイの 特徴について適切でないものを選択する	段落相互の関係に着目しながら、書き手の考えが どのような事例によって具体化されているのかを 正確に捉える	
2	一	【インタビュー計画】の役割について の説明としてふさわしくないものを選択 する	目的を意識して、聞きたいことの中心を考え必要 なことを整理する	
	二	【A】に入る内容について、【インタ ビュー計画】を踏まえてどのように話 すかを考え選択する	目的に応じて、自分が聞きたいことの中心を明確 にして、確かめたいことを質問する	
	三 (1)	友達のアドバイスを基に、聞き手に分 かりやすく伝わる内容として適切なも のを選択する	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げなが ら、話の中心が明確になるよう話す	
	三 (2) ア	漢字を書く ア なか	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で 正しく書く	
	三 (2) イ	漢字を書く イ さんが		
3	一	【ほうこくする文章】の【A】に図書 室に行きたくなくなるふうの事例を書く	自分の考えを支える事例を書く	
	二	【ほうこくする文章】の【ア】に入る ことわざについて書かれたカードとし て適切なものを選択する	ことわざの意味を知り、正しく使う	
	三 イ	漢字を読む イ 記録	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で 正しく読む	
	三 ウ	漢字を読む ウ 委員会		
	四	【ほうこくする文章】の構成について の説明として適切なものを選択する	書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)	
1	(1)	1本100円のペン4本分の代金と1個80円の消しゴム4個分の代金を求める	乗法の意味を理解し、正確に計算することができるかどうかをみる	88.1 11.5 0.3	
	(2)	1組分の代金を求めてから、人数分の代金を求めるという考えに適した式を選択する	示された場面や式の意味について考察することができるかどうかをみる	64.6 34.5 0.9	
	(3)	2つの物を同じ数ずつ購入したときの代金の求め方と答えを書く	示された場面を理解し、結合法則や分配法則の考えを用いて求め方と答えを記述できるかどうかをみる	58.6 39.0 2.4	
	(4)	43×2の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の積の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)×(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の積の意味を考察することができるかどうかをみる	70.2 27.3 2.5	
2	(1)	なわとびカードから、かた足とびを練習した日数を求める	示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	90.9 8.4 0.7	
	(2)	なわとびを練習した日数と人数について、棒グラフから読み取ることができる事柄を選ぶ	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせた棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる	81.1 17.8 1.1	
	(3)	①	二次元表の「あ」にあてはまる数を書く	アンケートで得られた結果を、二次元の表に分類整理することができるかどうかをみる	95.7 2.9 1.3
		②	「友達とび方のかつを聞いて、新しいとび方ができるようになった人」の人数を、二次元表から選ぶ	二次元表から導いた結論の根拠となるデータを示すことができるかどうかをみる	77.1 21.7 1.2
3	(1)	ゴムAを伸ばした後の長さとは伸ばす前の長さの関係を正しく表している図を選ぶ	示された場面を読み取り、数量の関係を適切に表した図を選択することができるかどうかをみる	74.8 23.6 1.6	
	(2)	ゴムBを伸ばした後の長さは伸ばす前の長さの何倍になっているか、求め方と答えを書く	示された場面を基にして、割合の求め方を記述できるかどうかをみる	67.3 27.7 5.0	
	(3)	ア	お茶の量を分数で表すときに、基にしている量を書く	分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを理解しているかどうかをみる	67.5 29.0 3.5
		イ	1 Lを5等分した1つ分のお茶の量を分数で表す		55.8 40.0 4.2
ウ		1 Lを5等分した6つ分のお茶の量を分数で表す	57.8 37.7 4.4		
4	(1)	正方形の折り紙を半分に折り、直線で切った後に開いてできた三角形の名前を書く	二等辺三角形の意味や性質を理解しているかどうかをみる	66.1 29.4 4.5	
	(2)	正方形の折り紙を切って開いた三角形を正三角形にするために、辺イウの長さを何cmにすればよいか書く	正三角形の構成の仕方について考察することができるかどうかをみる	44.1 52.8 3.1	
	(3)	4枚の三角形でつくることのできる形を選ぶ	図形の構成要素に着目して、図形を構成することのできるかどうかをみる	59.9 36.4 3.7	
	(4)	周りの長さが12cmの図形の面積について、正しいものを選ぶ	長方形や正方形を組み合わせた図形の面積を求める方法について考えることができるかどうかをみる	48.3 47.2 4.6	
	(5)	①	「だんの数」と「まわりの長さ」の関係をまとめた表の、5段目のときの周りの長さを書く	「だんの数」と「まわりの長さ」の関係に着目し、その関係を表に表すことができるかどうかをみる	87.2 8.9 4.0
		②	「だんの数」と「まわりの長さ」の関係を表した文の、イとウに当てはまる数を選ぶ	数量関係に着目し、「だんの数」と「まわりの長さ」の関係を言葉の式に表すことができるかどうかをみる	66.7 28.2 5.1
③		「だんの数」と「まわりの長さ」の関係について、□と○を用いて表した式を書く	数量関係に着目し、□と○を用いて、その関係を式に表すことができるかどうかをみる	49.5 43.0 7.5	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	メダカのメスが卵を産み、オスの精子と結びつくことを記述する	受精について理解している	
	(2)	クイズ作りを通して、問題文として適切なものを選択する	メダカの雌雄の体のつくりについて理解し、クイズに対する検討・改善ができる	
	(3)	インゲンマメの子葉に養分があるかどうかを調べる試案を記述する	養分を調べるための試案を理解している	
	(4)	メダカや人、インゲンマメの中から「もともと持っている養分を使って成長しているもの」を選択する	生物の成長に必要な養分のとり方について分析・解釈できる	
2	(1)	結論として適切なものを選択する	気温変化のグラフからいえることを適切に読み取ることができる	
	(2)	気温のはかり方として適切なものを選択する	気温のはかり方を理解している	
	(3)	台風が近づくと、どのような被害が起こるのか記述する	台風の特徴によって起こる被害を説明できる	
3	(1)	うちわでは正確な実験を行うことができない理由を選択する	条件を制御の方法を理解している	
	(2)	実験結果と予想を基にして、正しい組み合わせを選択する	実験結果を比較して、正しい予想を分析・解釈できる	
	(3)	より遠くまで車を動かす要因を記述する	2つの実験結果から、風以外の要因を見だし、分析・解釈することができる	
4	(1)	水が沸騰を始めた時間を選択する	グラフや表から、水が沸騰を開始した時間を読み取ることができる	
	(2)	水が温度によって状態変化する様子を、適切な言葉を選択して、記述する	水の状態変化で起こる現象を説明できる	
	(3)	水が、液体から気体に変化している現象として正しいものを選択する	液体から気体への状態変化で起こる現象を分析・解釈できる	
	(4)	実験結果を基に考察し、「金属のふたが開いたわけ」を記述する	温度変化に伴う金属の体積変化について理解している	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)	
1	一	メモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討する	82.0 17.8 0.2	
	二	記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している	64.7 35.0 0.3	
	三	述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に考えを述べる	67.6 32.1 0.3	
	四	インタビューのまとめとして述べることを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる	50.8 34.4 14.8	
2	一	適切な接続詞を選ぶ	文脈を捉え、接続詞として適切なものを選ぶ	72.2 27.4 0.3	
	二	文章全体における和歌の効果を捉える	和歌と筆者の意見との関係を捉える	69.7 16.0 14.3	
	三	I	漢字を書く（ハッテン）	文脈に即して漢字を正しく書く	69.1 22.6 8.2
		II	漢字を読む（便）	文脈に即して漢字を正しく読む	56.9 38.1 5.0
		III	漢字を書く（キズいて）	文脈に即して漢字を正しく書く	52.5 31.3 16.3
	四	「そびえる」の意味を選択する	語句の意味を捉える	59.3 40.2 0.5	
	五	述部に対する主部を選択する	主述の照応を捉える	68.9 30.3 0.8	
	六	③	【A】の要旨を捉える	要旨を捉え、中心となる語句を抜き出す	80.4 10.9 8.7
					④
		⑤	【B】の要旨を捉える		39.2 47.5 13.2
(2)		【A】【B】二つの文章に共通する考え方を捉える	二つの文章を比較して、共通点を捉える		72.8 25.7 1.5
3	一	文章の表現を直す意図として適切なものを選択する	叙述の仕方を確かめて、文章を整える	40.6 57.5 2.0	
	二	出典に必要な情報を選択する	出典に必要な情報を正しく書く	43.3 39.9 16.8	
	三	資料から必要な情報を取り出して書く	数え方の由来が伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	66.0 20.9 13.2	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	$7 + 2 \times (-5)$ を計算する	簡単な四則計算ができる	77.7 21.4 0.9
	(2)	自然数どうしの計算の結果が自然数になるものを選ぶ	自然数の意味を理解している	52.7 45.9 1.3
2	(1)	一元一次方程式 $1/2x = 1/5x + 3$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	41.1 46.9 12.0
	(2)	1冊x円のノート3冊と、1本y円の鉛筆2本を買ったときの代金の合計を式で表す	数量の関係を文字を用いた式で表すことができる	79.1 14.9 6.0
3	(1)	$\triangle ABC$ を直線 $l$ を対称の軸として対称移動させた図形をかく	対称移動の性質を理解している	89.1 9.2 1.7
	(2)	直方体 $ABCD-EFGH$ において、空間における直線や平面の位置関係について、正しくない記述を選ぶ	空間における直線や平面の位置関係を理解している	59.8 39.7 0.5
4	(1)	$y$ は $x$ に比例するとき、対応する1組の $x$ と $y$ の値を用いて、 $y$ を $x$ の式に表す	比例の関係を式に表すことができる	46.7 45.3 8.0
	(2)	反比例の表と、それに対応するグラフの形を選ぶ	反比例の表、グラフを相互に関連付けて理解している	66.2 32.6 1.3
5	(1)	シャトルランの記録についてまとめた度数分布表から、中央値が含まれる階級を求める	度数分布表から中央値が含まれる階級を求めることができる	65.4 32.1 2.5
	(2)	シャトルランの記録についてまとめた度数分布表から、40回以上60回未満の階級の相対度数を求める	度数分布表からある階級の相対度数を求めることができる	46.1 43.2 10.7
6	(1)	画用紙を画びょうで留めて掲示するとき、6枚の画用紙を貼るときに必要な画びょうの個数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	82.0 16.2 1.8
	(2)	$n$ 枚の画用紙を並べて掲示するときに必要な画びょうの個数が、 $3(n-1)+4$ 個になる理由を説明する	与えられた説明を参考に、問題解決の方法を数学的に説明することができる	35.4 41.5 23.1
7	(1)	半径6cmの球の体積を求める式を選ぶ	球の体積の求め方を考察することができる	32.7 65.8 1.5
	(2)	容器Cの深さを求める	与えられた条件を正しく理解し、問題を解決することができる	38.2 49.8 12.0
8	(1)	姉と弟が家から公園に向かう様子を表した2つのグラフについて、正しい記述を選ぶ	与えられたグラフなどから、必要な情報を読み取ることができる	77.6 21.0 1.4
	(2)	姉が公園に着いたときに、姉と弟が何m離れているかをグラフを利用して求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	33.6 46.4 20.0
9	(1)	A投手が投げた球の速さについてまとめたものについて、正しい記述を選ぶ	与えられたものから必要な情報を読み取ることができる	54.8 42.6 2.6
	(2)	「平均値は11.5km/hだから、この速さの球を多く投げる傾向にある」という主張が適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	ヒストグラムの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	54.2 21.7 24.1

部	大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)	
I部 (聞くこと)	1	No. 1	何に用いるものかを正しく説明している英文を聞き取り選択する	ある状況や場面、事物を描写説明した単文レベルの英文を正しく聞き分ける	91.7 8.1 0.2	
		No. 2	曜日と時刻を正しく説明している英文を聞き取り選択する		66.1 33.7 0.2	
		No. 3	グラフについて正しく説明している英文を聞き取り選択する		51.0 48.8 0.2	
	2	No. 1	父親と娘の会話を聞き、質問に対する答えとして娘が買う商品を表す絵を選択する	自然な口調で話される日常的な話題についての対話を聞き、情報を正確に聞き取る	16.4 83.5 0.1	
		No. 2	友人同士の会話を聞き、質問に対する答えとして待ち合わせの時刻を表す絵を選択する		17.9 82.0 0.1	
		No. 3	友人同士の会話を聞き、質問に対する答えとして女の子が必要なものを表す絵を選択する		49.5 50.2 0.3	
	3	海外旅行での予定変更に関する情報を聞き取り、変更した新たなスケジュールのメモを選択する	まとまりのある英語(ツアーガイドの話)から、変更した新たなスケジュールを聞き取る	43.5 56.4 0.1		
II部 (読むこと)	4	(1)	文脈から判断し、「難しい」という意味の形容詞 difficultを選択する	単文レベルの英文の中で文脈的つながりを理解し、適切な語彙を用いた表現を判断する	56.3 43.6 0.1	
		(2)	文脈から判断し、「だから」という意味の接続詞 soを選択する		69.4 30.5 0.2	
	5	加奈とティムの会話から、二人が参加できるイベントはどれかを読み取り、正しいポスターを選択する	英語で書かれた二人の会話から、必要な情報を読み取る	34.4 65.4 0.3		
	6	(2) アイウ	(1)	SNSに投稿された文章を読んで、文脈に合う語句として適切なものを選択する	まとまりのある英文の中で、文脈的つながりや概要を理解する	47.5 52.2 0.3
						38.7 61.0 0.3
				SNSに投稿された文章を読んで、その内容をまとめた英文の空欄に入る語として適切なものを選択する		45.9 53.8 0.3
						50.0 49.5 0.5
	7	(1)	書き手の態度を読み取り、適切なものを選択する	まとまりのある英語の意見文を読んで、要点を理解する	50.2 49.3 0.4	
		(2)	下線が引かれた単語が示す内容を文脈から判断して読み取り、適切なものを選択する		66.1 33.4 0.5	
		(3)	全体を読み、書き手が伝えたいことに最も近い内容を表す英文を選ぶ		27.3 71.6 1.0	
III部 (書くこと)	8	(1)	「教師である」というbe動詞の肯定文を正確に書く	与えられた情報に基づいて、適切な表現を用いて英文を正確に書く	33.5 49.0 17.5	
		(2)	「毎日サッカーをする」という3人称単数現在形の肯定文を正確に書く		24.3 67.1 8.7	
		(3)	「猫が苦手である」という3人称単数現在形の否定文を正確に書く		24.4 62.8 12.8	
	9	(1)	文脈から判断し、食べたものが何なのかを尋ねる疑問文を単文で書く	与えられた会話のやり取りの内容から推測し、自分の発言として適切な英文を書く	23.8 58.6 17.7	
		(2)	文脈から判断し、今英語を勉強しているという現在進行形の肯定文を単文で書く		22.5 50.5 27.0	
		(3)	文脈から判断し、週末に病院に通っている目的を尋ねる疑問文を単文で書く		20.2 49.3 30.6	
	10	①	与えられた状況で、長崎県のPRチラシで紹介したい事柄を1つ取り上げ、それを説明する文章を英文で書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く	42.5 33.6 24.0	
		②			34.5 41.3 24.2	
		③			27.9 47.7 24.4	

## 6 各市町の状況

(県平均正答率以上の場合「+」表示)

校種	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	英語
長崎市	+	+	+			+
佐世保市						
島原市	+	+		+	+	
諫早市			+			
大村市			+	+		
平戸市	+	+				
松浦市						
対馬市						
壱岐市	+	+				
五島市		+				+
西海市						
雲仙市	+				+	
南島原市						
長与町	+	+	+	+	+	+
時津町	+	+	+	+	+	
東彼杵町		+	+			+
川棚町	+	+				+
波佐見町				+	+	
小値賀町	+	+	+	+	+	+
佐々町	+	+		+		
新上五島町	+	+	+	+	+	+

県立中・特別支援学校を除く